

## 平成 31 年度 事業計画

### 1 平成 30 年中の県内の交通事故発生状況

発生件数 3, 799 件 前年比 -505 件

死者数 102 人 前年比 + 17 人

負傷者数 4, 453 人 前年比 -677 人

発生件数及び負傷者数は13年連続で減少したが、死者数は、102人と大幅な増加に転じ、新潟県交通事故死者抑止目標とする「死者数70人以下」は残念ながら達成できなかった。

### 2 平成 30 年中の西蒲警察署管内の交通事故発生状況

発生件数 120 件 前年比 -11 件

死者数 5 人 前年比 + 5 人

負傷者数 141 人 前年比 - 7 人

#### ○ 高齢者事故

○ 発生件数 51 件 前年比 - 6 件

(高齢者加害 36 件 前年比 - 3 件)

○ 死者数 2 人 前年比 + 2 人

○ 負傷者数 31 人 前年比 + 1 人

発生件数及び負傷者数は減少したが、死者数は5人と大幅に増加した。高齢者事故についても、発生件数及び高齢者加害事故は減少したが、死者数及び負傷者数は増加した。

### 3 平成31年度の活動重点等について

交通事故の発生実態に即応した交通安全活動を効果的に推進し、悲惨な交通事故の減少、特に交通死亡事故の発生を抑止して新潟県の交通死亡事故抑止目標を達成することを目標に、「平成31年度西蒲地区交通安全協会活動重点」として下記のとおり定め推進することとした。

なお、新潟県では第10次交通安全計画を踏まえて、平成31年新潟県交通死亡事故抑止目標を「66人以下」と設定している。

#### 記

#### ○ 活動重点及び設定理由

##### ○ 高齢者の交通事故防止

県内の交通死亡事故における高齢者の割合が15年連続で50%を超えたこと及び西蒲警察署管内では、高齢者の事故は減少したが、参加・体験型交通安全教室等の開催や家庭訪問による広報活動により、交通事故の一層の減少を図る。

## ○ 飲酒運転の根絶

依然として絶えない飲酒運転や飲酒運転による事故の根絶に向けて、「**飲酒運転をしない、させない、許さない**」という積極的な広報・啓発活動を展開することにより、運転者に飲酒運転の危険性・責任の重大性を認識させるとともに、家庭・地域・職場等において飲酒運転根絶の意識醸成を図る。

## ○ 歩行者及び自転車の安全確保

高齢者、子どもや高校生に多く発生している歩行中や自転車乗車中の交通事故の根絶に向けて、家庭、学校、地域等と連携し、指導・広報・啓発活動を一層推進する。

また、交通ルールの遵守、交通マナーの向上及び事故を未然に防ぐ交通行動など、交通安全意識の高揚を図る。

併せて、自転車利用者に対する正しい通行方法の周知と運転者に対して安全速度の励行及び身体障害者や高齢者等が通行（歩行）している際の保護意識の醸成を図る。

なお、自転車は歩行者との衝突では加害者となる場合もあり、交通に参加する者としての十分な自覚と責任が求められるので、そうした意識の啓発を図るとともに、関係事業者の協力を得つつ、損害賠償責任保険等の制度の周知を図る。

## ○ シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底

自動車乗車中の交通事故死者のシートベルト着用率が依然として低いことや、県内の一般道における後部席におけるシートベルト着用率が49.7%（平成29年10月調査）、チャイルドシートの使用率が52.3%（平成29年4月調査）といずれも低調であることから、指導・広報・啓発活動をより積極的に展開するとともに、交通安全教育を一層推進し、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底を図る。

## 4 関係機関・団体との連携

西蒲警察署、新潟市西蒲区役所及び弥彦村役場をはじめとする関係機関・団体等と連携を図りながら、別紙の事業計画を積極的に推進し、西蒲地域における交通事故の減少を図ることとする。

## 5 交通安全運動等の実施

### (1) 全国運動

#### ア 春の全国交通安全運動

5月11日(土)～5月20日(月)

交通事故死ゼロを目指す日 5月20日(月)

イ 秋の全国交通安全運動

9月21日(土)～9月30日(月)

交通事故死ゼロを目指す日 9月30日(月)

(2) 新潟県の運動・行事等

ア シートベルト・チャイルドシート着用強調月間 ～ 3月中

イ 新入学(園)児を守る交通安全週間

4月8日(月)～4月14日(日)

ウ 夏の交通事故防止運動

7月22日(月)～7月31日(水)

エ 高齢者交通事故防止月間 ～ 10月中

オ 冬の交通事故防止運動

12月11日(水)～12月20日(金)

カ、交通死亡事故多発警報 発令の日から10日間

(3) その他

ア 交通安全家庭の日「家族で話そう、みんなの交通事故防止」 毎月10日

- ・歩行者の安全確認
- ・自転車のルール遵守
- ・自転車の「不注意」防止

- イ 自転車安全月間 ～ 5月中
- ウ 交通安全子ども自転車県大会 6月22日(土)
- エ 県民交通安全フェア ～交通安全宣言記念行事  
7月16日(火) 新潟テルサ
- オ 安全運転チャレンジ100  
9月23日(月)～12月31日(火)
- カ いきいきクラブ・チャレンジ100 (県との共催)  
9月23日(日)～12月31日(月)

別紙

## 第1 活動重点の推進項目

### 1 高齢者の交通事故防止

#### ○ 推進事項

##### ア 高齢者・自転車対策の推進

- ① 高齢者宅の訪問指導
- ② 「いきいきクラブ・チャレンジ 100」への参加促進
- ③ 夜光反射材の効果体験等、明るい服装と反射材着用の広報・啓発活動の推進
- ④ 交通安全広報の日（毎月2回）の広報推進
- ⑤ 各季の交通安全運動期間中、交通安全のぼり旗の掲出と街頭指導所の開設による広報の実施  
(ア、イ、ウ共通)

##### イ 運転者対策の推進

- ① 各種の運転者対象講習会等を活用した高齢者事故の特徴及び高齢者の行動特性の周知
- ② 夜間のライト上向き運転励行の広報
- ③ 高齢者に優しい運転励行の広報

##### ウ 高齢運転者対策の推進

- ① シバードライビング教室等、参加・体験型講習会の開催
- ② 高齢者マークの広報及び表示の促進
- ③ 運転免許証返納制度の広報及び返納支援

## 2 飲酒運転の根絶

### ○ 推進事項

#### ア 飲酒運転の危険性等の広報の徹底

- ① 危険性、悪質性の認識を徹底させるための広報の推進
- ② 飲酒運転事故事例やアルコールが運転に及ぼす影響等の具体的な広報の推進
- ③ 交通安全広報の日（毎月2回）の広報推進
- ④ 各季の交通安全運動期間中、交通安全のぼり旗の掲出と街頭指導所開設による広報

#### イ 飲酒運転追放の機運醸成のための活動推進

- ① 「ハンドルキーパー運動」定着に向けた取組強化
- ② 飲食店等、酒類を提供する業者等に対する飲酒運転根絶の協力要請活動の実施



- ③ 企業、関係団体等による飲酒運転追放宣言の促進
- ④ 交通安全家庭の日（毎月10日）の周知広報

### 3 歩行者及び自転車の安全確保の推進

#### ○ 推進事項

##### ア 交通安全指導等

- ① 交通事故多発箇所の把握と提言
- ② 通学・通園時間帯における誘導・監視活動
- ③ 正しい交通ルールとマナー実践のための交通安全教室の開催
- ④ 交通安全広報の日（毎月2回）の広報推進
- ⑤ 保育園児・幼稚園児対象交通安全教室の開催
- ⑥ 各季の交通安全運動期間中、交通安全のぼり旗の掲出と街頭指導所の開設による広報

（⑥は、ア、イ、ウ共通）

##### イ 自転車の正しい乗り方の指導

- ① 小・中学生対象の自転車安全教室の開催
- ② 自転車街頭指導点検の実施

- ③ 自転車安全利用五則の周知・広報の推進
- ④ 第53回交通安全子ども自転車新潟県大会への参加校支援

ウ 運転者対策の推進

安全速度の励行と歩行者優先保護意識醸成のための講習会の開催

#### 4 シートベルト・チャイルドシート着用の徹底

○ 推進事項

ア 着用広報の推進

- ① 着用義務の周知と着用徹底を図るための広報
- ② 着用、非着用時の致死率の差や具体的な事故事例等により、着用の効果に関する具体的広報の推進
- ③ 着用強調月間（3月中）の効果的な活動

イ チャイルドシート無料貸出し

インターネットホームページ等により、無料貸出し事業の効果的な広報を一層推進する。

## **第2 交通安全功労者等の顕彰**

### **1 交通安全功労者、優良運転者等の表彰**

平素、地道に活動し、地域の交通安全活動に功労のあった者及び永年無事故・無違反の優良運転者等に対し、西蒲警察署長と当協会の会長連名による表彰を行い、受賞者の交通安全活動に対する意欲の更なる向上を図ろうとするもの。

### **2 交通安全功労者等の表彰上申**

新潟県警察本部長・新潟県交通安全協会会長連名表彰  
関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長連名  
表彰、警察庁長官・全日本交通安全協会会長連名表彰  
等に該当する交通安全功労者、優良運転者及び優良  
学校・事業所等の表彰上申を積極的に行うもの。

## **第3 交通安全に関する受託事業及び関連事業の実施**

交通の安全と円滑の確保に寄与するため、新潟県の委託関連事業である運転免許行政に係る事業及び自動車保管場所証明行政に係る事業を適切に実施するとと

もに、これらに関連する事業を実施するもの。

## 1 新潟県の委託関連事業の実施

### (1) 運転免許事務補助業務の実施

#### ア 運転免許窓口業務

○ 運転免許更新、再交付及び記載事項変更届の申請、届出者に対する申請書類等の記載方法の指導、審査・受理及び運転免許証の変更事項の記載を行う。

○ 運転適性検査として、視力検査及び深視力検査並びに視野の測定を行う。

#### イ 更新時講習業務

○ 優良運転者及び一般運転者に対し、ビデオ等の視聴覚教材及び交通教本等により、交通事故の現状、運転者の責務、危険予測等交通事故防止に必要な知識を内容とする講習を行う。

### (2) 原付講習業務の実施

○ 道路交通法に規定する原付免許を受けようとする者に対し、原動機付自転車の運転に関する知識及び実技を講習する。

### (3) 社会参加活動実施事業の実施

軽微な違反をした者に対する違反者講習のうち、社会参加活動実施事業（当センター前で、通行する車両の運転者にシートベルト着用を呼び掛ける活動）を、新潟県公安委員会が指定した者に対し行う。

### (4) 自動車保管場所事務補助業務の実施

自動車保管場所の確保等に関する法律等に規定する自動車保管場所の届出事務のうち、申請書等の受理、記載内容の点検確認、保管場所管理システムへのデータ入力、証明書及び標章番号通知書の作成・交付等の事務補助業務を行う。

## 2 上記1に関連する業務の実施

### (1) 新潟県収入証紙売りさばき事業の実施

運転免許更新申請者等及び自動車保管場所証明書申請者の利便を図るとともに、運転免許及び自動車保管場所事務の円滑な運用に寄与する目的で、新潟県収入証紙の売りさばき事業を行う。

### (2) 運転免許用写真撮影事業の実施

運転免許証更新申請者等の利便を図るため、写真撮影事業を行う。

(3) 交通安全用品等の販売

夜光反射材等の交通安全用品の普及を図るため、販売を行う。

## 第4 その他

### 1 会議の開催

協会の運営及び効果的な交通安全活動を展開するため、必要な会議を開催する。

- 理事会 5月及び3月のほか、必要の都度
- 評議員会 5月又は6月のほか、必要の都度
- 三役会議等 必要の都度

### 2 その他

(1) 明るく親切な窓口応接の推進

協会の財政基盤強化のため、地域住民の目に見え、共感が得られる活動を推進するとともに、運転者会費協力者を確保するため、明るく親切な応対と迅速的確

な窓口業務の更なる推進に努める。

(2) 情報公開の推進

協会運営の透明性の確保を図るため、下記のとおり  
情報公開を推進する。

ア 事業報告書等の閲覧書類の事務所備え付け。

イ インターネット上の「情報公開共同サイト」に役員  
名簿及び事業報告書等を最新のものに更新して登載  
する。